



近年の情報化やIT化に伴って、10年後、20年後には、現在ある職業の半分がなくなるであろうと予測されています。将来、子どもたちが仕事に就き、幸せな生活を送るためには、自分で考えて判断し、予測不可能なことにも対応できる力を育てることが重要だと言われています。今、清湖小の子どもたちは、日々友達と力を合わせながら成長しています。苦手なことにも最後まで取り組んだり、下級生を気遣い、声をかけてあげたりと学校生活の様々な場面で、「自分の心と真剣に向き合う時間」「自分の心を自分で育てる瞬間」があってほしいと願っています。そして、そのような成長の積み重ねが子どもたち一人一人の「温かい心」を育て、今後の自分の生き方を見出していく力にも繋がっていくと考えています。

道徳の授業では、自分自身を律する心、友達のことを大切にする心、社会の決まりやルールを守ろうとする心、自然などのすばらしいものに感動する心等、様々な道徳的価値について学びます。ぜひお家でも、「今日の道徳の授業どんなお話だった?」と、お子さんと一緒に道徳について話し合っただき、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの「温かい心」を育てていきたいと考えています。



～本校での取り組みについて～

子どもたちの「温かい心」を育むために本校では以下のような取組を行っています。授業参観、学校公開の際には、ぜひ一度ご覧いただきますようお願いいたします。

1. 授業の足跡を残す掲示物

授業で学んだ資料をもとにして各クラスに道徳コーナーを設置しました。道徳コーナーでは、どんな道徳的価値について学んだのかが分かるよう、その時間の児童の気づきや振り返りを記した挿絵を掲示してあります。

同じ道徳的価値について再度学習を行う際には、「前の勉強で礼儀ってどんなことだと気付いたかな。」など、児童が学びを振り返るための手掛かりとなっています。



2. キラキラの木

普段から自分や友達のよいところや頑張っているところを見つけ、子どもたちの「心」を育てていくために、各学年に「キラキラの木」のコーナーを設置してあります。友達のよさや頑張りを見つけることで、お互いに認め合っていくことのできる仲間づくりを目指しています。



3. 道徳ノート

資料から自分が考えたこと、自分の生活を振り返ったり、友達の話をきいて考えたりしたことを道徳ノートにまとめていきます。昨年度から引き続いて同じノートを使用している学年もあり、これまでの自分の学びを振り返ることができています。

